

くのへむら
九戸村食生活改善推進員協議会

[岩手県：活動期間43年]

地域と連携した食育の推進及び健全な食生活の実践に向けた活動

幅広い年代に応じた食育講話や調理実習、昼食（バランス弁当）の提供

九戸村食生活改善推進員協議会は、幼児期から高齢期までの幅広い年代の村民に応じて、バランスの良い食事のための食育講話や調理実習、昼食（バランス弁当）の提供を行っています。毎年4月に開催される九戸村健康づくり推進協議会で決められる一年の目標と計画を基に、総会にて各ライフステージの重点目標に応じた活動内容を考案します。近年では、早い段階から子ども達に食の重要性を伝えるため、「子ども食堂」に力を入れた活動を行っています。



みんなで楽しい子ども食堂



高齢者「カレーライスの会」



高校生「バランス弁当」作り

小さな村のメリットを生かして学校、地域と連携した食育活動を展開

九戸村は人口約5,000人の小規模自治体です。この特徴を最大限に活かし、学校、行政、地域などと密に連携することで、幅広い年代の住民に対し円滑かつ効率的な食育活動を行っています。村内の多種多様な団体と協力することで、活動の幅や食育の重要性に対する理解が多方面に広まり、今では「村民の健康のためになくてはならない活動」として認知されています。



地区栄養教室



介護予防！男の料理スクール



働き世代「生活習慣病予防教室」

生徒向けに郷土食の調理実習を実施しながら親世代への郷土食の継承

高校生の朝食摂取率の向上を目指すにあたり、地産地消や郷土料理を取り入れた調理実習を実施することで、食の重要性を伝えるとともに郷土食の継承も行っています。高校での講習会を通し、近い将来親元を離れて暮らすであろう生徒たちが、正しい食の知識を身につけられるよう指導しています。また、親子調理実習では、子どもが、正しい食の知識を身につけられるよう指導しています。



いばない
伊保内高校にて調理実習



親子で郷土料理作りに挑戦



この度の受賞に、会員一同喜びを噛みしめています。九戸村食生活改善推進員協議会は、「小さな村で大きな愛を込めて」を合言葉に、全世代に切れ目のない食育活動を行っています。私たちは、この賞を励みに更に精進し、村民が生涯健康で暮らせるように活動していきたいと思っています。

九戸村食生活改善推進員協議会一同